

はつかいち福祉ねっと通信

No.32

発行 はつかいち福祉ねっと事務局(廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ)

連絡先 TEL(0829)20-0224/FAX(0829)20-0225/E-mail fukushi-soudancenter@h-kiraria.net

ホームページ <http://h-kiraria.net/wordpress/>

「ねっと通信」の個人宛メール配信希望者、募集中!

平成27年度 はつかいち福祉ねっとの取り組み報告

防災プロジェクト

今回初めて取り組んだあいプラザの消防訓練は、「いつも利用しているあいプラザで火災が起きたらどのように避難すれば良いだろうか」「消防訓練に参加してみたいよね」などの各障がい別会議からの声がきっかけでした。事前に障がい別会議の皆さん、社会福祉協議会、健康推進課、障害福祉課で集まり、内容について検討し、そこで出た「スモークマシンによる煙体験」、「避難用スロープを使っての実際の避難」、「あいプラザ内の避難設備の説明」などの意見を取り入れ消防訓練を行いました。

当日は、約30人の参加で数か所の部屋に分かれ、避難しました。避難用スロープを使っての避難でしたが、車いすをバックで誘導したりしてスムーズに行動することができました。参加された人からは、「初めて参加してみて良かった」「障がいを持つ我が子が一緒だったらどうだろう?と思う。親子で参加できたら問題点などがわかったかも」などの声がありました。

また、今回は初めての取り組みということで、全体会で発表させてもらい、はつかいち福祉ねっとの皆さんにも知ってもらえることができ良かったです。

平成28年度も、同様にあいプラザの消防訓練に皆さんと参加できればと思い企画会議を開催予定です。

“障害者週間”ワーキング

はつかいち福祉ねっとの部会の中で「障害者週間にねっとで何かできないだろうか?」との声があり、今年度「“障害者週間”ワーキング」を立ち上げました。会議の中で出た多くのアイデアをもとに、12月9日から11日にゆめタウン廿日市にて“障害者週間”啓発イベントを開催しました。

2階フロアスペースでは事業所製品販売、白杖SOSシグナルの啓発、手話教室、市民ホールでは事業所紹介のパネル展示、製品や作品展示、障害者権利条約の絵本のスライド上映、バルーンアート、缶バッチづくりの体験コーナー、喫茶コーナーも設置しました。「なってくださいサポーターに」のリーフレットをゆめタウンのテナント店長さんへ配布、啓発も行いました。初めての企画でしたが当事者団体、事業所、ボランティアさんなど多くの方の協力で開催できました。



部会代表者会議

障がい別会議・課題別会議の代表者等で構成する部会代表者会議は年5回開催しました。全体会や各部会の取り組みは、この部会代表者会議で出された意見を取り入れ、どんどん進化していきます。



平成27度は、この部会代表者会議に、障がい別会議の各団体のみなさんにも合流いただく“拡大版”を新設しました。この“拡大版は、「第3期廿日市市障がい者計画、第4期廿日市市障がい福祉計画」のPDCAサイクルでの推進に特化した会議で、年2回開催しました。

市と福祉ねっとが両輪となり、障がい者計画等を推進していくという初めての経験に、試行錯誤の連続ですが、みんなで協力しながら、引き続き“はつかいち”らしく進めていければと思います。

障がい別会議

身体障がい部会

「広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備」「JR大野浦駅周辺地区整備」「平良市民活動センターのリニューアル」に向け、廿日市市の担当課の方と意見交換をする機会を持つことができました。

その他、おりづる出前教室（広島ひかり園）を開催したり、あいプラザで行なわれた消防訓練や、ゆめタウン廿日市での“障害者週間”啓発イベント（障害者権利条約の絵本のスライド上映、白杖SOSシグナル運動啓発活動、手話教室など）に参加しました。

毎月開催した部会では第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進に向けた話し合いや、お互いの近況報告・情報交換等をおこないました。



知的障がい部会

前年度に引き続き、友和の里、くさのみ作業所で開催したおりづる出前教室（ゆるゆるピクス）は楽しく身体を動かす事ができ大好評でした。また、事業所見学（PIECE宮内キャリアサポート、SAIさん家、皆賀園）では情報交換や交流を深めました。

今年度新たな取り組みとして、障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集用のフォーマットを作成しました。集まった情報は共有、活用できるように整理しようと思っています。さらに、あいプラザ消防訓練（防災プロジェクト企画）や、ゆめタウン廿日市で行われた“障害者週間”啓発イベント（“障害者週間”ワーキング企画）に参加したり、地域生活支援拠点についての情報収集、学習を行いました。

その他、第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進に向け、部会でも取り組める内容等について協議を行いました。



精神障がい部会

毎年恒例の交流企画では、事業所の職員と利用者で会議を重ね、行き場所や弁当の手配、レクリエーションなど色々なことを皆さんと企画しながら取り組みました。今回は、安佐動物公園に総勢 75 名で行き、散策などして楽しむことができました。

おりづる出前教室は、佐伯地域で開催しチーム対抗でできるスポーツなどで身体を動かし盛り上がることができました。

講演会については、市の健康推進課とも話し合いながら、「高次脳機能障害について」「精神障害について」の講演を行いました。

こども部会

前年度に引き続き、おりづる出前教室と夏休み工作教室、地域とのつながりづくりアンケートを行いました。夏休み工作教室は、初めて友和の里さんと共催させていただき、個性あふれる表札（ガラスアート）、ホワイトボード（クレイデコ）が完成しました。



きょうだい支援の会 SIBLINGS 代表の三谷健二さんを講師にお招きして開催した学習会「障がい児者のきょうだいについて」では、障がいのある方のきょうだいの課題等について考えることができました。

その他、新たにブログや LINE を活用した情報発信をスタートしたり、「子どもが使える障がい福祉サービス等のべんり帖」作成や第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期障がい福祉計画推進のための協議をおこなったりし、盛りだくさんの 1 年となりました。

課題別会議

わかりやすい情報部会

例年通り、事業所一覧は、改訂、配布を行い（年 2 回）、「はつかいち福祉ねっと通信（年 4 回）」は、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるように、廿日市市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

ホームページについては、新たなワーキングメンバーからの意見をもとに、「自分たちで更新できる方法」について検討をスタートさせました。検討を通して、障がい種別や年代による情報の配信方法の違いなどについても把握しながら、わかりやすい情報について意見交換も行いました。

福祉就労ワーキング

定例の会議で各事業所の取り組みなどを発表しながら、情報共有を行いました。“障害者週間”啓発イベントに向けて部会でも話し合いを行い、事業所製品の販売と各事業所の紹介をパネル展示しました。これまで取り組んできたプロジェクト（商工はつかいちの封入作業、市役所からのアンケートのデータ入力、市役所ロビーショーケース展示、市役所ロビーでの常設販売など）を継続して行いました。また、新たに協働で取り組める仕事として、日赤看護大学から依頼があった कांग्रेस バッグの制作に複数の事業所取り組んだり、全体会で物品の販売などを行ったりしました。

特別支援学校進路ワーキング

「特別支援学校卒業生ワーキング」から「特別支援学校進路ワーキング」に名称変更し、年4回のワーキングを開催しました。夏休みのワーキングでは、前半に廿日市市在住の生徒がいる市外特別支援学校にも参加していただき、各事業所の次年度受け入れ予定などの情報共有を行い、後半に廿日市特別支援学校と関係する事業所・機関で進路調整を行いました。

発達支援部会

年1回の部会を開催し、情報共有を行いました。また、引き続き、乳幼児健診等でポジティブライフガイドを配布しました。

2月23日(火)には特別支援教育士の橘恵さんを講師にお招きし、障害児相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所を対象とした初の研修「将来を見据えた放課後・長期休暇の支援について」を開催しました。「放課後等デイサービスガイドライン」、「障がい特性」、「発達状況」、「発達障がいのある人の自立」、「地域生活を見据えた支援」について分かりやすくお話しいただき、子どもさんの支援には奥深く幅広い視点が必要だということを改めて感じました。

長期入院解消プロジェクト

長期入院されている人を対象に院内茶話会を実施しました。ワーキング事務局からは、地域移行支援事業のサービスの内容、地域で相談できる相談支援事業所や市の窓口などについて、わかりやすいように写真を使いながら説明させていただきました。

後半の茶話会では、みなさんの退院や地域生活に対する想いや意向などについて、付箋に書きながらお互いにざっくばらんに意見交換をしました。みなさんから出た意見などは、1枚にまとめていつでも見られるように病棟内に貼っていただきました。長期入院されている人が、少しでも「退院するのも良いかな」と思えるよう取り組んでいけたらと思います。

余暇活動ワーキング

福祉ねっと事務局から引き継ぐという形で、企画実施した「みやじま丸 de クルージング(7月31日(金))：協力 JR西日本宮島フェリー」には、午前97人、午後110人のご参加をいただきました。今回は、初めて、医療的ケアが必要な子どもさんたちとそのご家族に、医療スタッフ等の支援者のみなさんと一緒に乗船いただくことができました。

また、2年目を迎えた「障がい者スポーツ体験会(12月12日(土))：参加者73人」では、新たに、競技用車いすの展示、紙けん玉コーナーの設置を行いました。そして、同じく2年目の「カローリング交流会(1月23日(土))：参加18チーム90人」は、参加者の利便性向上のために、サンチェリーメインアリーナを会場に開催しました。両スポーツ企画とも、スポーツ推進委員のみなさん、廿日市市社協登録のボランティアさんにご協力いただき、温かい雰囲気の中、大いに盛り上がりました。カルビー(株)さん、(株)やまだ屋さん、(株)サンコウ企画さんから協賛品をいただくことができ、昨年度よりもバージョンアップの年となりました。

訪問介護事業所連絡会

2ヶ月に1回開催された連絡会では、情報共有や近況報告等を行ないました。ヘルパー不足が、多くの事業所の課題となっており、どのように人材を確保し、個々のスキルをどう高めていくかが度々議題にあがりました。

そうした中、連絡会ではヘルパーのスキルアップの取り組みとして、研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないこと」（講師：竹内吉和先生竹内発達支援 Co.）、介護技術研修「リハビリテーションケアセミナー」（講師：香川寛さん NPO 法人リハケアリングネットワーク）を開催しました。廿日市消防署の方にお越しいただき、救命救急講習会も2回開催しました。

その他、例年取り組んでいる「利用者・ヘルパー交流企画」としては、夏休みにスポーツレクリエーション(カローリング、ビーンボーリング等)を楽しみました。

相談支援部会

毎月定例会を開催し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携をはかりました。

その他、今年度は多職種他機関との連携をはかることを目的に、サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会「障がい福祉関係者基礎力アップ研修～広島県相談支援アドバイザー派遣事業～」(講師：森木聡人さん 広島県相談支援アドバイザー・障害福祉サービス事業所 Bee - Works 施設長)を開催しました。

権利擁護ワーキング

4月1日施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」について理解を深めるために、研修会「障害者差別解消法がめざすもの」（講師：横藤田誠さん広島大学大学院社会科学部教授）を開催いたしました。差別解消法が制定されるまでの世界的な流れや法律の内容など、わかりやすく解説いただき、参加された方々からは、「個々のケースに応じて、何が合理的配慮なのかを考えて対応しないといけない」、「市民が障害者差別解消法について考える機会があればよい」などの声が聞かれました。

障がい別会議から FM はつかいち「地元でがんばる jin」に出演！！



5月6日(金)18時30分から放送されたFM はつかいち「地元でがんばる jin」に各障がい別会議からお1人ずつ(身体障がい部会：秋保さん、知的障がい部会：郡司さん、精神障がい部会：木村さん、こども部会：西本さん)が出演しました。みなさんご視聴いただきましたでしょうか？ここで放送の様子を少しご紹介したいと思います。

30分ほど事前打ち合わせ後(事務局スタッフも同席)、みなさんは本番のため、ブースへ移動、事務局スタッフはブースの外から、出演されるみなさんを応援しました。パーソナリティーの倉本さんの進行で、「はつかいち福祉ねっととは？」に始まり、各障がい別会議の具体的な活動や課題別会議の紹介をしました。みなさん緊張された様子が見られましたが、「はつかいち福祉ねっと」のPRをしっかりとされていました。



～事業所リレーずいそう～ No.13



母体である「社会福祉法人いもせ聚楽会」は平成17年11月の市町村合併で誕生し、大野地域と宮島地域で介護保険サービス、障害福祉サービスを提供しています。なんと発足から満10年を迎えました。支えて下さった地域の皆様に感謝申し上げます。これからも応援のほどよろしくお願い致します。

～～～大野ふれあい生活介護事業所～～～

大野ふれあい生活介護事業所の管理者、中道です。わが事業所の一週間を紹介します。月・水・金の午前中は作業で、缶潰し・廃油石鹸作り・廃品回収・手芸・紙すきを行っています。同時に特殊浴槽による入浴を行っています。

火曜日は盛りだくさんの曜日です。午前中は若い美人の音楽療法士による楽しい時間を過ごしています♪若い女性が来るといつも以上にみんなノリの良い事(笑)。珍しい楽器に触れることが出来ます。私も股にはさんで奏でる楽器に挑戦したのですが、しばらく筋肉痛になりました。午後はとても優しい理学療法士による訓練を行っています。

木曜日は、カラオケ・お菓子作りやクラブ活動で各々楽しんでいます。金曜日は全員で体を動かす時間で、大きな風船でバレーを楽しむこともあります。いつもは興味を示さない仲間も、驚くほど夢中になります。職員は風船を落とさない様に必死で走り回りヘロヘロですけれど。

～～～相談支援事業所いっぽ～～～

相談支援事業所いっぽの木上です。平成25年3月1日に産声を上げた事業所です。いっぽという名前には、他の誰でもない自分の想いで自分で決めて踏み出す一歩をお手伝いしたいという思いが込められています。

あっという間に3年がたっていました。慣れない仕事に必死で向き合い、失敗を繰り返してきました。今ではやりがいを感じています。初心を忘れず、自己研鑽に努め、信頼してもらえる相談員でいたいと思います。

私にはもう一つの顔があります。それは、農園長です！廿日市市大野福祉保健センターの空きスペースを最大限利用して、野菜を栽培しています。とれた野菜は、生活介護の仲間に洗浄、計量、パック詰め、販売を行ってもらっています。段々と品数も増えて、楽しみにしてくれる方も出てきました。

毎日の販売とはいきませんが、仲間の賃金アップと意欲向上の一助になればと日差しに負けず、奮闘しています。



次回の事業所リレーずいそう No.14 は「放課後等デイサービスつなぐ」です。

